

大井川支流 関の沢

2013年7月20日(土)～21日(日)

メンバー L: 廣瀬(記)、小池M、小池N

7月20日(曇りのち雨)

関蔵駅から30分で関の沢橋梁。

橋梁直下から沢まで、ワイヤーにステップを渡した梯子があり利用する。

沢に下りて足元を見ると、歓迎委員会が4～5匹付いている。

念入りに確認し、お引取り願ったところで、遡行開始。

早々、ゴルジュ①。

高さ20m程の黒色の岩の壁が切り立ち、その中を澄んだ水が流れており、非常に美しい。

水量は少なく、問題無く進む事ができる。

2時間程で取水堰堤。

ここで水量が3倍程になり、沢のスケールに見合った感じである。

(そうは言っても、少ないほうだと思われるが・・・)

堰堤よりすぐ上流は岩が覆いかぶさるようなゴルジュ②。

腰まで水に漬かり進む。ここは増水したら突破は難しいだろう

そこから宇洞沢出会いを過ぎ、ゴルジュ③までは、河原、小規模なゴルジュ、直登可能な小滝が交互に現れる。

ゴルジュ③を過ぎると、右岸が開けた河原になり、幕営可能。

特に図示した屈曲部分は広めの砂利の平地があり、最高の幕営地。



ゴルジュ①



堰堤



ゴルジュ②



ゴルジュ②③の間の滝



ゴルジュ③ 上部から



幕営適地

08:30 関蔵駅
09:00 関の沢橋梁
10:50 堰堤
11:50 宇洞沢出会い
15:50 幕営地

7月21日（曇りのち晴れ）

幕営地付近の河原を過ぎると、岩の色が白くなり、巨岩のゴーロ状になる。右に、左に沢を横切り進むため疲れる。

ゴルジュ④の中間に、4mほどの滝があり、右岸のお助けロープを使いクリア。但し、ロープは腐りかけなので安心して体重は掛けられない。左岸に高巻き道があるので、そちらを使用したほうが安全だろう。ゴルジュ④の最後は覆い被さるような岩盤で、見ていて楽しい。そこを超えると田代沢出合い。ここも幕営可能である。

今回は時間をかせぐため、本流ではなく田代沢に入る。田代沢を1時間弱進んだところで、10m階段状の滝が左岸に現れるので登る。この沢筋はそれほど急ではなく、十分遡行可能である。しばらくいくと15mほどの枯滝が現れるが、右岸の土壁を登りクリア。次に、8m程の枯滝は直登できるが、岩が脆く注意が必要。そこを登ると傾斜は緩くなる。ほっと一息つきたくなるが、鹿の糞がそこらじゅうに有るということで、居ました！！歓迎委員会がヒラヒラしています。休む暇無く標高差200mの土の斜面を登り稜線に出る。そこからは歓迎委員会は顔を見せず、田代まで下山する。



ゴルジュ④



ゴルジュ④終了



関ノ沢_遊行図

- 06:30 幕営地
 - 08:30 田代沢出会い
 - 09:30 枝沢出会い
 - 12:00 稜線 (1530m)
 - 14:20 田代集落
- 以上